

「株式会社 姫路シティ FM21」

第 50 回 放送番組審議機関 審議会議事録

1. 開催日時 平成24年12月15日(土曜日) 午後1時30分～午後3時
2. 開催場所 イーグレひめじ セミナー室
3. 出席状況
 - 1) 委員総数 11名
 - 2) 出席委員数 5名
 - 3) 出席委員の氏名(敬称略、順不同)
有馬 妙子 大谷 昭仁 岩成 孝 楠田 孝蔵
柳谷 郁子
 - 4) 欠席委員の氏名(敬称略、順不同)
井上 重義 井上 悠 岸田 直美 衣笠 愛之
湯之原 貴夫 宮本 節子
 - 5) 会社側出席者氏名
黒田 俊雄 (常務取締役 営業部長)
小幡 博 (営業企画部 課長)

4. 議題

- 1) 事務局より挨拶
- 2) 資料説明
- 3) 試聴
「家島歩きwithFMゲンキ」「軍師官兵衛姫路講演会」を各10分程度試聴した。
- 4) 意見交換

委員 黒田官兵衛に関して。FMゲンキの果たす役割は大きいのではないかと。特にタクシーの運転手は観光客と接する機会が多いと思うが、何も知れないのではないかと。商店街の人についても同様。市民にも勉強していただく必要がある。FMゲンキはどのように考えているのか？

- 事務局 関係者の方に番組に出ていただきレギュラーコーナーとしていた。より市民の興味や意識の持ち方を高めていかないといけないと考えている。
- 委員 すりこみが必要である。一日のうち少しでもよいので「官兵衛、官兵衛」と呼びかけていただきたい。官兵衛は活躍した場面がはっきりしているのです、それを取り上げて解説を加えてほしい。
- 事務局 そのときは、柳谷先生にもお願いしたい。関係団体のみなさんにもお会いしたが「これからだ」とおっしゃっていた。九州に視点が行ってしまったら終わりなので、姫路の魅力を発信していく必要がある。
- 委員 各地域に史跡がある。それらを一つ一つ取り上げていけばよいのではないかな？
- 委員長 4月までになにかできればよい。今までにそのようなことはあったのか？
- 事務局 詳しい方をお呼びして、シリーズとして取り上げていた。
- 委員長 姫路市としても積極的にそのような取り組みをしているのか？
- 事務局 今後出てくると思われる。
- 委員 姫路市の本気度を示すためには、予算をつけることしかない。それは積極的にいうべき。
- 委員長 講演会は市の主催なのか？
- 事務局 1回目はゲンキが主催したが、それ以降は共催となっている。ただ、共催となれば相応の負担が必要であり、FMゲンキも負担をしている。
- 委員 実際の資料は九州にあるのではないかな？
- 委員 本物は博物館にあるが、レプリカの甲冑を個人が保持している。重要な資料も個人が所持している。それを姫路市で買い上げてほしい。散逸してしまう可能性がある。この2つは予算化してほしい。もう一つある。資料館を建てて収めてほしい。そのような要望もFMゲンキから行ってほしい。
- 委員 絶対に九州に負けないようにしないとイケない。

- 委員 九州には黒田一族の末裔や二十四騎が移っている。彼らが藤光会として奨学金事業などを行っている。姫路市が決断すれば資料は手に入る。
- 委員 市長だけでなく議会の理解も必要だろう。
- 委員 ドラマ館のような形で資料を集めたらよい。
- 委員 すでに中津が官兵衛という商標を取っている。姫路市は城の資料館を作る構想があるそうだが、そのなかに取り入れてほしい。
- 委員 官兵衛の放送からお城の修理完了と姫路駅の再開発と連続しているのでいいタイミングである。
- 委員長 啓蒙活動を積極的にするべきだ。
- 委員 青少年に対する教育にも役立つ。一つの目標や誇りにもなる。
- 委員 菓子組合でも官兵衛がらみの話をするということである。知り合いにタクシードライバーがいるが、丁寧に説明するタクシーもあるが、それがどうしたんだ？という態度のドライバーもいるそうだ。私もタクシーに乗ることがあるが、感じの悪いドライバーもいる。イメージの問題。
- 事務局 最初に乗ったタクシーの印象で姫路のイメージが変わってしまう。
- 委員 観光というものに対しての心構えがかけているのではないか。
- 委員 議員でも官兵衛のことを知らない人がいる。決定した以上は勉強しようという気持ちになってほしい。
- 委員 近場だと口も利かないドライバーがいる。
- 委員長 観光都市姫路ということで講演会が行われて、タクシードライバーにも来ていただいたがそのときはみな熱心だった。商工会議所などは動くのか？
- 委員 商工会議所とも話をしようと思っている。
- 委員長 中核となる機関が動き始めたら、市民に発信できることが増える。
- 委員 交通関連の会合もあるが、タクシーの話は必ず出る。女性は雰囲気が悪

いからタクシーには乗りたくないという声すらある。いつも使うタクシーの会社はしっかり教育してある。

委員 スポンサーのイベントは面白そうでよい。家島のイベントなど。

事務局 家島のイベントについては、よくゲストにも出演してくださる方が案内人となっているので、みな興味深く聞いたようだ。

委員長 イベントはどのぐらいあるのか？

事務局 年間5件ぐらいである。スポンサーに制作費を負担していただいている。

委員 企業に持ちかけてスポンサーになってもらったらよい。工場ツアーなどに絡んではどうか。

事務局 一般的なラジオのCMはなかなか困難な状況である。ただ、イベントは体力的にも人間的にも負担できない。イベントは出て行くお金も多いので、利益は少ない。

事務局 準備は大変だった。ラジオ放送についても手作りで対応していた。家島は79.3MHzの電波が届かないので、ミニFMで対応していた。これを毎月となるとなかなか大変である。電波の届く範囲ならよいが、実況生放送となると難しい。先ほどの官兵衛のゆかりの地などでできればよいと思うが、課題もある。

委員長 パーソナリティ養成講座について。これに対しての予算はどうなっているのか？市からの助成はないのか。

事務局 自社で負担している。

委員長 姫路市が立ち上げた放送局なのだから、人材育成に対して市の負担をできないのか？

事務局 姫路市の職員を育成するのであれば可能かもしれないが、自社のスタッフを育成するためには難しいと思う。

委員長 放送機材はよく更新があるのか？機材は買取か？

事務局 大きな機材は減価償却。安価なものは消耗品として、その都度購入している。

委員 車に乗っている限りはFMゲンキを聴くようにしている。FMゲンキのメインメロディのようなものはあるのか？

事務局 番組ごとのテーマソングはある。

委員 これが流れてきたら、FMゲンキだとわかるようなものはあるのか？

事務局 帯の番組はテーマソングが同じとなっている。番組内ではジングルとして局名告知をしている。また、クッション的に「夢ある姫路」をかけている。緊急時やトラブル時などにおいても、それを準備してる。反対にスタッフはあれが流れるとあわてることもあるようだ。姫路市はあまり使っていないようだが、FMゲンキでは積極的に使っている。

委員長 スポンサーの中でディーラーはあるのか？

事務局 トヨタカローラ姫路さんは株主でもあるし、スポンサーでもある。

委員長 ディーラーが納入した自動車にはカーナビがついている。主だったところは最初から入っているが、FMゲンキも入っていたらいいのと思う。

事務局 課題でもあるが、なかなか難しい。

委員 1年間広告費をただにするので、入れてほしいと交渉したらよい。

委員長 営業状況も厳しいのか？

事務局 そうです。

委員 来年度も、家島ウォークや相生の公開放送はあるのか？

事務局 スポンサー次第です。

委員長 官兵衛に関する拠点となるようなものがあればいいのだが。

事務局 商業的には代理店などが入札をおこなって対応すると思う。

委員 御着は舞台になるとおもう。小寺からはじまると御着は欠かせないと思う。姫路城はセットになる。今の姫路城は官兵衛の時代にはないので。わらぶきのようなものだったのではないかな。

- 委員長 少々難問でも強調してやっていけばよいのではないか。学術的な問題もあるかもしれないが、エンターテインメントとしてできることも多い。
- 委員 神河町もロケ地になったということで熱心にPRしている。
- 委員長 英賀の勢力は官兵衛と敵対したが、それはそれで意義のあることで、ドラマには悪役も必要。最近はそのように考えている。単独では難しいが、一向勢力の遺物は多くある。播磨灘物語にも出てきたと思う。

午後3時、以上の報告・討議・検討を終了し、閉会した。

公表年月日 平成24年12月28日

公表内容 審議の概要

公表方法 事務所据え置き、ホームページ (<http://fmgenki.jp>)
自社放送内「きまぐれ日曜日 (2012年12月30日午後4時)」

以上